

開講科目名 / Course	スポーツ救護（救急法含む）	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1,2,3,4	
主担当教員 / Main Instructor	稲垣 敦	
担当教員名 / Instructor	稲垣 敦	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	一般社団法人大分県スポーツ学会、または日本スポーツ救護看護学会（以下、学会）主催のスポーツ救護講習会を一般の受講者といっしょに受講し、スポーツ大会やトレーニング場面で選手や観客を救護するための知識や技術を身につける。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ救護における基本的なケアを説明できる。</li> <li>2. 日本赤十字社による救護法の「赤十字ベーシックライフサポーター認定証」を得る。</li> <li>3. スポーツ救護認定試験に合格して、「スポーツ救護員」に認定され、看護師国家試験合格後に「スポーツ救護ナース」に認定される。</li> </ol>	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>01. 健康スポーツ学総論（講義）</li> <li>02. スポーツ救護・小処置（講義）</li> <li>03. スポーツ救命救急講習（講義・実技）</li> <li>04. スポーツ頭部外傷（講義・実技）</li> <li>05. スポーツ栄養学（講義）、スポーツ薬学（講義）</li> <li>06. スポーツと内科疾患（講義）</li> <li>07. スポーツ歯科学（講義）</li> <li>08. スポーツと運動器疾患・テーピング（講義・実技）</li> <li>09. スポーツ熱中症（講義・事例検討）、小児救急概論（講義）</li> <li>10. スポーツ障害・スポーツ外傷（講義・実技）</li> </ol> <p>年度によって内容は若干異なります。</p>	
その他の授業の工夫	<p>経験豊富な多彩な講師陣による（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、健康運動指導士、トレーナーほか）。</p> <p>講義だけではなく、実技も含まれる。</p> <p>日本赤十字社の基礎講習を受講でき、手当の基本、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた電気ショックなどを習得できる。</p>	
時間外学修	テキストを使って復習したり、スポーツ救護の事例検討会やスポーツ救護活動に参加する（19h）。	
評価方法と評価割合	スポーツ救護認定試験（100%）	
テキスト	当日配付。	
参考書		
履修する上で必要な要件	別途受講料が必要。	
その他	<p>大分県スポーツ学会のHPから、各自で受講を申し込んでください。募集定員を超えた場合は抽選等となりますので、早めに応募してください。講義は週末の2日間で、別途、参加費がかかります。基本的に受講のキャンセルはできません。日程や会場は未定です。日本赤十字社による救護法の基礎講習が含まれており、手当の基本、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDを用いた電気ショックなどを習得でき、「赤十字ベーシックライフサポーター認定証」が得られます。認定試験に合格すると「スポーツ救護員」に認定され、学会が毎年開催する医師等によるスポーツ救護の事例検討会に参加できます。また、本学卒業時に看護師国家試験の合格を学会に連絡すれば「スポーツ救護ナース」に認定されます。認定後は、学会から県内スポーツ大会の開催情報がメールで送られてきますので、応募して救護班として活動できます（有償）。</p>	
教員の実務経験	有・無	無
	内容	

教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、健康運動指導士、トレーナー。
実務経験をいかした教育内容	それぞれの分野の専門家による講義だけではなく、スポーツ救護の現場で遭遇しやすい状況や救護者が迷う状況の実技指導を行う。	